

行 事 名	シンポジウム「車両軽量化のためのダイカストの品質及び生産性向上」
主 催	(公社) 日本鋳造工学会 研究委員会／ダイカスト研究部会
日 時	2026 年 9 月 4 日(金) 10:00～16:55
場 所	早稲田大学西早稲田キャンパス 57 号館 201 室
参 加 費	正会員・維持会員・外国会員 8,000 円, 学生会員 3,000 円, 非会員 20,000 円
定 員	200 名
申 込 方 法	日本鋳造工学会ホームページ内, シンポジウム申し込みサイトから申し込む
申 込 締 め 切 り	8 月 21 日 (金)
問 合 せ 先	日本鋳造工学会事務局 TEL. 03-6809-2303 E-mail. jfes@jfs.or.jp
内 容	常設研究部会「ダイカスト研究部会」は, 1988 年に開設し, ダイカストに関する生産技術や不良対策技術などについての情報交換や討議を進めてきました. それらに活動を通じて, 鋳造欠陥の発生原因と対策の究明や鋳造用合金, 金型, ダイカストマシンのダイカスト技術の 3 要素をはじめ, 離型剤, 鋳造モニター&管理システム, 溶湯管理などの周辺技術の調査・研究を行ってきました. 本研究部会でも, 引き続きそれらの調査・研究を行い, 鋳造欠陥・不良対策への活用などについて得られた知見をまとめ, 研究報告書を作成しました. さらに, 車体用を前提としたダイカスト合金の研究を実施しました. 具体的には合金組成が伸びや耐力に及ぼす影響、Fe 等の不純物元素が伸びに与える影響を車体部品を模擬した形状でダイカストを行い系統的に調査しました. これらの活動内容をお伝えすべくシンポジウムを開催することになりました. プログラム 10:00-10:05 開会挨拶 (早稲田大学)吉田 誠 ～第一部 品質および生産性向上のためのダイカスト技術開発 事例集～ 10:05-10:35 「ダイカスト部品のレーザー接合法の開発」(リョービ㈱) 古賀伊織 10:35-11:05 「アクスルブラケットのダイカスト技術開発」(蔦機械金属㈱) 今井良一 11:05-11:35 「ダイカスト金型設計段階でのバリ抑制手法の確立」 (ダイハツ工業㈱) 重春 優 11:35-12:05 「熱力学計算ソフトを活用した材料設計の取り組み」 (本田金属技術㈱) 本橋直恭 12:05-13:00 ■■■昼休憩■■■ 13:00-13:30 「理想の離型を実現するモデルベース開発の試み」(マツダ㈱) 井上寛之 13:30-14:00 「溶湯中異物混入によるハードスポット不良とその対策に関する検討」 (ヤマハ発動機㈱) 大橋龍生 14:00-14:30 「ボディ・シャシー部材への ADC ベースの Al-Si-Mg 系合金の適用」 (㈱UBE マシナリー) 佐々木寛人 14:30-15:00 「ダイカストボディ構造部品に向けた離型剤開発」 (㈱青木科学研究所) 外川浩司 15:00-15:15 ■■■休憩■■■ ～第二部 車体鋳物用非熱処理型 Al-Si 系合金の調査～ 15:15-15:20 「1. 背景・目的」(早稲田大学) 熊木拓海 15:20-15:50 「2. ダイカスト実験概要と引張・曲げ試験結果」(早稲田大学) 熊木拓海 15:50-16:10 「3. SPR 評価結果」(マツダ㈱) 花岡祥平 16:10-16:30 「4. 寸法測定と熱変形解析のコリレーション」(日産自動車㈱) 原田英人 16:30-16:50 「5. 考察・まとめ」(早稲田大学) 熊木拓海 16:50-16:55 閉会挨拶 (早稲田大学)吉田 誠